



WFP（国連世界食糧計画）協会で桜井さんを囲んで。

国際機関訪問(8月4日) このフィールドワークでは、YNN（横浜NGO連絡会）の協力で、午前中はNGOについての説明と、JICA横浜の館内見学を行い、午後からはYOKE（横浜市国際交流協会）の協力で横浜の国際機関を訪問しました。



YNNの小俣さんから説明を受けた後、JICA館内を見学しました。



楽しく学べる！

世界の楽器も！



JICA横浜に併設する海外移住資料館を見学。資料が充実！



←カナダの鮭の缶詰工場のラベル

←移民の荷物は？



説明も丁寧にしていただきました！

神奈川から青年海外協力隊へ行った方の紹介



昼食はJICA横浜の食堂で。エスニックな料理も充実しています。宗教にも配慮したハラール・メニューもありました。(写真中) フェアトレード商品も販売しています。(写真右)



YOKE（横浜市国際交流協会）村井昭子さん（右）



WFP協会の桜井裕介さん（左）何と隼人出身の先輩！



CITYNET横浜プロジェクトオフィスの平田ケンドラさん（右）



横浜市立大学学生の陸田欣詠さん。隼人出身



横浜市国際交流協会はパシフィコ横浜にあります。横浜の多文化を推進する拠点です！

「訪ねよう！国際機関(WFP)」(8月20日) この日はYOKE（横浜市国際交流協会）で「食糧問題を考える」セミナー＆ワークショップが行われました。「ハンガーバンケット」（食の不公平さを体験するワークショップ）なども行われ、国際語科の生徒にとって有意義なプログラムになりました。卒業生の陸田さんも8月4日に引き続き参加していただきました。



FAO（国連食糧農業機関）の渡邊さんからのレクチャー。



意見交換の時間もみな積極的！



「ハンガーバンケット」実際に食べ物を配って、「貧しさ」「豊かさ」の違いをリアルに体験！



今回の参加者は国際の生徒だけではなく、他校の高校生や大学生も参加しました。

「訪ねよう！国際機関(ITTO)」(8月21日) ITTO（国際熱帯木材機関）は日本に本部がある唯一の国連機関です。当日はITTO広報担当官のラモン・カーリーヨさんの英語を交えた講話があり、また「エコ活動」について改めて考えるワークショップも行いました。



グループディスカッションでも、活発な意見交換が行われ、国際の生徒も頑張って意見を出しました。



その後意見の共有も行い、いろいろな方の意見を聞けて勉強になりました！



セミナーの合間の、ほっとひととき。充実したスケジュールでした！